

# イベント・講座・その他企画のご案内

facebook 市民活動 スキルアップ講座  
**「やってみよう！Facebookで活動アピール」** 8/15(木) 受付  
 ~団体活動の情報発信にFacebookを活用してみませんか~

最新のイベント情報や日々の活動の様子を発信し、新たな参加者やファンを増やしましょう！  
 市民コーディネーターがFacebookの活用法をレクチャーします！  
 開催日時 **8月31日(土)10時30分~12時30分** 定員15名(先着順) 会場 まちサポ会議室



## ●10月1日から消費税の引き上げに伴い、使用料金の一部を改定します。

区分	単位	現行金額	改定金額
多目的スペース	市民活動団体(事業者を除く)	230円	240円
	市内で市民活動を行う事業者	460円	470円
	市長が特に必要とみとめるもの	460円	470円

※会議室1・2の使用料は変更ありません。

## 【今後の多目的スペースのイベントご案内】

各団体のイベントです。  
 足を運んでみてください！

	【日時】	【イベント名】	【主催団体】
☆	8/20(火) 10:30~14:00	ふわRIN 子育て 茶話会	家庭倫理の会 白井市
☆	8/24(土) 10:00~14:00	保護ねこ里親会	ふくねこや。neko部
☆	8/25(日) 13:30~16:00	悠々ホルン ライブ&トーク	ハートの会
☆	8/29(木) 13:30~15:00	~楽しいおしゃべり回想法~	らくだ会
☆	9/9(月)~15(日) 9:00~17:00	第14回 写真展	デジカメサークル「つつじ」
☆	9/29(日) 10:00~14:00	ガールスカウト ~カフェde防災	ガールスカウト千葉県第63団



フェイスブックも やっています！

FB しろい市民まちづくりサポートセンター  検索

【印刷マスター塾】  
 デモンstrーションと体験型講座です。参加無料  
 3名集まれば開講いたします。要予約

【編集後記】  
 ・(峯)様々な情報をお届けしたいと思います。  
 ・(菊池)「みんなをつなぐ」情報誌でありたいと思います。

まちサポ通信 VOL.7  
 発行日：令和元年7月15日  
 発行元：しろい市民まちづくりサポートセンター  
 TEL：047-401-3729(直通) 祝日のみ休館  
 MAIL：machisapo@city.shiroi.chiba.jp

市民活動団体の活躍情報、まちサポの楽しいイベントやセミナー等、奇数月に発信していきます！

- 主な内容
- 『まちサポひろば 市民交流DAY』開催決定！
  - 平成30年度 白井市市民団体活動支援補助金 公開成果報告会&助成金講座
  - 登録団体活動紹介 NO.1
  - イベント・講座・その他企画のご案内
  - 多目的スペースイベントのご案内
  - 講座案内「やってみよう！Facebookで活動アピール」



みんなの つなぐ、広げる

# まちサポ

## 通信Vol.7

東庁舎1Fにて(初)  
 11月30日(土)開催決定！

## まちサポひろば 市民交流DAY



登録団体有志の方々と共に、従来の「市民交流フェスタ」に代わる市民交流イベントを開催するため検討を進め、このたび、決定しました！  
 『まちサポひろば 市民交流DAY』

市民活動団体および一般市民の交流事業です。ワークショップやパフォーマンスを通して、市民活動の魅力をふんだんにご紹介。活動を詳しくPRすることを目的としております。

実行委員会  
 参加希望団体  
 募集中

展示

6月25日(土)『まちサポひろば 市民交流DAY』へ向けての実行委員会が立ち上がりました。実行委員長林章さん、副委員長吉井信行さんのもと、登録団体75団体(7月4日現在)のうち24団体31名でのスタートです。様々なことを企画中です。今後、具体的な内容を決定していきます。市民の皆様のご来場をお待ちしています。

体験

物販

発表

課

- 【第1部】平成30年度市民団体活動支援補助金を受けた3団体による事業成果報告
- 【第2部】助成金講座「民間助成金の仕組みと活用法」

市民団体活動支援補助金

公益的活動を行っている団体に補助金を交付し、自立促進と市民主体のまちづくりを支援しています。募集時期の詳細は広報やまちサポ通信でお知らせします。

第1部 公開成果報告会 活動報告および今後の展開に続き、活発な質疑が行われました。



<学習支援> ステップ

比較的豊かな地域といわれる白井市でも、経済的な格差が広がっていると感じる。2018年度は年間85回延べ736人受講した。成果として3年生は全員希望の高校へ進学できた。場所の確保、会場費の負担、講師陣の充実、学習支援に対する市民のニーズ等を課題として挙げられる。



<介護施設ふれあいサロン事業> 特定非営利活動法人白井助け合いネット

社会福祉施設などの利用者及び近隣の住民参加で相互の親睦を深めるため「サロン」を開設している。毎回10名～15名の参加がある。おしゃべりをし、一緒に歌い、知らない者同士が知り合う場となり、老いも若きも楽しい輪が広がっている。有料場所の確保が課題であるが、各方面理解を得ながら地域定着を進めたい。



<子ども・子育て世代・高齢者・障がい者等へ支援交流事業> ふじ元気ひろば

「地域ぐるみネットワークふれあい会議」活動をベースにして子どもから高齢者、障がいを持った方々まで幅広い年齢の方が参加する元気食堂と食育を兼ねた野菜栽培と野外活動をしている。毎月の行事を楽しみにしている方もいて2年目として地域に根ざしたと実感。課題として無償ボランティアを集める限界を感じている。

第2部 助成金講座  
『知って得！市民活動団体のための民間助成金の仕組みと活用法』



講師 (独)福祉医療機構NPOリソースセンターNPO支援課 係長 渡真利 紘一さん  
民間助成金の仕組みや活用方法などを交え、民間助成金を紹介していただきました。誰でもチャレンジしたくなるような軽快なトーク、わかりやすい資料等参加者に好評でした。

まちサポには助成金・補助金の様々な資料があります。

実現したい活動を具体的に描いて  
助成金にチャレンジしてみませんか？

登録団体活動紹介 NO.1

アダプト530クラブ



季節の花で  
ポイ捨て抑止



代表の深田さん

平成15年8月、環境美化の推進をテーマに100人会議が設置された。(平成20年度をもって終了)有志で『アダプト530クラブ』が立ち上がった。ポイ捨て防止を目的に白井駅周辺の「灰皿清掃」と、県道白井停車場線(ケーズデンキ前)の中央分離帯に花壇を作ることになった。季節ごとに様々な花を植栽しているため、今では地域の人々が楽しんでくれている。雑草もぐんぐん育つので、手入れにも余念がない。

信号待ちをしている人、通りかかった人、少し離れた地域の人が、「ご苦労様」「きれいですね！」と様々な声をかけてくださることも、やっていてよかったという気持ちにさせてくれます。(令和元年5月11日に取材)



白井の自然を考える会・NPO法人谷田武西の原っぱと森の会

自然の中で  
クリーン作戦  
共催事業



集められたごみ

ここ数年、市内谷田に残された里山の美化活動を共催で行っており、今年も5月18日に20名程が参加しました。福祉センターから澤山の泉の周りには椅子や扇風機等が投棄されており、また林の中では、長年にわたって捨てられていたごみの数々を回収しました。作業後は、福祉センターでお弁当を食べながら交流のひとときを持ちました。

このような活動の成果としてゴミは少なくなってきていますが、完全になくなったわけではありません。これからも美化活動を続けて、きれいな里山の環境を守る活動を続けていきたいと思ひます。

<NPO法人谷田武西の原っぱと森の会> 齋藤さん談話  
観察会に参加して、咲き誇るキンランやジュウニヒトエなどに感動した。『街の近くにこんな自然が残っていたんだ。この里山は保存したい』と思ったことが、活動を始めたきっかけ。あまりたくさんのはできないが、少しでもこの里山の自然を保存するお手伝いをして、後世に引き継ぐことができたらいいと思う。

<白井の自然を考える会> 岩本さん談話  
ニュータウン地区を少し離れると、お寺やきれいな水、植物に出会うことが沢山あり、そんな出会いがうれしくて、自然の実態の調査研究し、広く市民に知ってもらい、今の活動を始めるようになった。会報を楽しみにしています！という会員からの声は励みになる。当会でも、会員の高齢化が進み、若い人にもっと参加をして欲しい。